

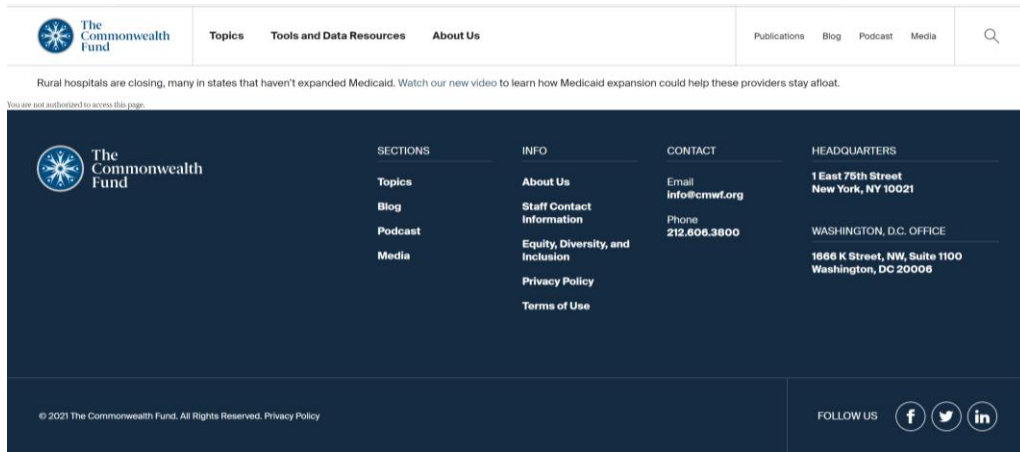
医療保障制度（イギリス）

出典

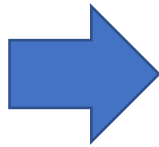
International Profiles of Health Systems 2020

はじめに

- International Profiles of Health Care Systemsで資料を調べたところ資料が見つからなかったため、イングランドの資料を基に資料作成を行いました。



イギリス



イングランド

医療保障制度の概要

- 1948年に国民保健サービス（NHS）が設立された。
 - 主に税を財源とし、全居住者を対象に原則無料で医療サービスが提供されている。（外来処方薬や歯科診療には、定額負担あり）
 - NHSへの加入がない人は、緊急部門での治療と特定の感染症の治療のみが無料。
 - プライベート医療サービスは、全額自己負担であるが、患者が医療機関や専門医を選ぶことができる。
- 政府の役割
 - NHSの政策の責任は議会や保健介護省にあり、日々の責任はNHSイングランドにある。
 - NHSイングランドはNH S 予算の管理をし、一般家庭医(GP)、地域の医療運営機関(CCG)を監督する。

公的医療保険と民間医療保険

- 公的医療保険の役割

- 総医療費はGDPの約9.8%(2016年)。うちNHS（国民保険サービス）が79.4%を占めている。NHSの財源構成の約80%は一般税、国民保険の一部から約20%。

- 民間患者としてNHSサービスを使用している自己支払いの収入。

- 民間医療保険の役割

- 国民の約10.5%が民間の自主健康保険に加入。

- 給付対象外の医療行為を目的とする。より迅速なアクセスを提供。

- 一般的な慣行を除外する。

公的医療保険の給付

Services covered

公的医療保険の給付内容はNHSが実際に提供する。

- スクリーニング、予防接種、予防接種プログラムなどの予防サービス
- 入院患者および外来患者の病院ケア
- マタニティケア
- 医師サービス
- 入院薬と外来薬
- 臨床的に必要な歯科治療
- いくつかの目のケア
- 学習障害のある人のケアを含むメンタルヘルスケア
- 緩和ケア
- いくつかの長期介護
- 理学療法を含むリハビリテーション（脳卒中後のケアなど）
- 地域に根ざした看護師による家庭訪問、車椅子、補聴器、およびそれらを必要としていると評価された他の補助器具

NHSとはイギリスの国民保健サービスを指す。

など様々なサービスやケアが提供される。

※NHSが対象とする範囲は設定されておらず、絶対的な権利はない。

出典：International Profiles of Health Care Systems 2020

構成内容

- 医療保障制度の適応率 100%
- 民間保険 10% ※ NHS税方式により全国民をカバー
- 医療保障制度の財政方式 税方式
- 財源 80% . . . 政府負担
国民保険の保険料の一部が充当される

医療費の患者負担

- Cost-sharing and out-of-pocket spending
- Safety nets

- NHS(国民保健サービス)のスクリーニング(適性検査、健康診断)およびワクチンの接種プログラムは自己負担の対象にならない。
- 外来処方薬は、処方箋ごとに8.80英国ポンド(12.50米ドル)の自己負担が必要。NHSの病院で処方される薬は無料。
- NHS歯科サービスは、治療1コースあたり最大256.50英国ポンド(365.00米ドル)の自己負担金の対象となる。
- 2016年の英国では、家計による自己負担の医療支出が総支出の約15%を占めた。
- 2016年には、イギリスの処方箋の89%が無料で配布された。15歳以下の子供、16歳から18歳までのフルタイムの学生、60歳以上の女性、収入が少ない人、妊娠中の女性および過去12か月否に妊娠した女性、がんおよびその他の特定の長期状態または障害を持つ人々は処方薬の自己負担が免除される。

医療保険制度のまとめ

- 医療保障制度の概要

主に税を財源として全居住者を対象に一部定額負担もあるが原則無料で医療サービスを提供。

- 公的医療保険と民間医療保険

総医療費はGDPの約9.8%（2016年）。うちNHS（国民保険サービス）が79.4%を占めている。財源の大半は一般税で国民保険が20%

一方民間は国民の10.5%が民間の自主健康保険に加入し、選択的な病院の手続きのために迅速なアクセスを可能にしている。

- 公的医療保険の給付

スクリーニング、予防接種プログラムなどの予防サービス、入院患者及び外来患者の病院ケアがある。他にもマタニティケア、医師サービス、長期介護、メンタルヘルスケアなど様々。

- 医療費の患者負担

NHSによる検査などは自己負担なし。外来処方箋薬は処方箋ごとに8.8英国ポンドの自己負担。NHSの病院で処方される薬は無料。